

## 2021 AOTS ウェビナー KROP33 経営幹部のための企業経営研修 - 日本的経営の成功と失敗から学ぶ -

主催：一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）

協力：AOTS 同窓会

### 背景

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

「経営幹部のための企業経営研修 - 日本的経営の成功と失敗から学ぶ -（KROP33）」は、開発途上国在住の組織運営について全般的責任を有する経営幹部が参加者や講師との議論を通じ、リーダーとして必要な経営哲学・経営理念についての理解を深めるとともに、経営管理能力の向上を図るコースです。

### 概要

日本企業は 1960 年代から 1980 年代まで「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と称賛されるように世界を席巻する成長を遂げましたが、バブル崩壊時期を境目にグローバルマーケットにおける存在感を失ってきています。日本は今日までデフレ脱却ができず、GDP 成長率、賃金上昇率ともに世界最低レベルに留まっており、その原因は経営者の課題だけにとどまらず国の経済政策の課題にも及んでいることがパンデミックという非常事態下で露呈されました。一方開発途上国においては 1980 年代までの日本企業のように成長を遂げ、存在感を増す企業もあるが、それらの企業にとってもいわゆる日本化（Japanification）の回避は今後の課題となりうる状況といえます。また、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経営環境が混乱を極める中、デジタル化が加速し、ビジネスを取り巻く環境にも大きな変化が起きています。企業の経営幹部にとってはビジネスリーダーとしてこうした環境の変化への迅速且つ柔軟な対応は喫緊の課題であります。加えて、コロナ禍では株主資本主義よりも企業としていかにあるべきかについての企業倫理が益々重要となっている状況であります。

本研修では、日本企業の成長（1960-80 年代）と停滞（失われた 30 年）の理由について経営者及び国の経済政策の両面から参加者と議論を通して検討し、日本的経営を再考することで、企業の経営幹部にリーダーとして必要な経営哲学・経営理念についての理解を深めるとともに、経営管理能力の向上を図ります。また、企業経営幹部が環境の変化に迅速且つ柔軟に対応するための最新の DX マーケティングについても学びます。さらに、不安定な経営環境下での企業のあり方と企業倫理について学びます。

本研修は、講師による一方的な講義ではなく、事前に講師が提供するテーマと実際の事例や読み物をもとに、さまざまなバックグラウンドを持つ参加者と講師が積極的に議論を行い、講師を含む参加者全員がセッションの終わりに向けて一歩ずつ知恵を高めていくアクティブラーニング方式をとっています。

### ねらい

組織運営について全般的責任を有する経営幹部が参加者及び講師との間での議論を通じ、以下についての理解を深めます。

- 1) 企業の社会的価値を持続的に向上するために必要不可欠な経営哲学・経営理念
- 2) 企業経営幹部が環境の変化に迅速且つ柔軟に対応するためのマーケティング・マネジメント（基本的フレームワーク・日本でのマーケティング戦略事例・DX マーケティング）
- 3) 不安定な経営環境下での各企業の存在意義

### 日時

- 1 日目：2022 年 2 月 25 日（金）16:00-18:30（日本時間）
- 2 日目：2022 年 3 月 1 日（火）16:00-19:00（日本時間）
- 3 日目：2022 年 3 月 2 日（水）16:00-19:00（日本時間）
- 4 日目：2022 年 3 月 3 日（木）16:00-19:30（日本時間）

\*ご参加地域でのウェビナー開始時間については、【Table1】各国時差表（対象ゾーン）で確認するか、チラシに記載の AOTS 同窓会にお問い合わせください。

**参加対象国**

開発途上国

※具体的な対象国名は【Table 2】対象国リストをご参照ください。

**参加定員**

20名

**参加資格**

下記の要件を満たす方

- 1) 組織運営について全般的責任を有する経営幹部（役員相当）
- 2) 年齢は30歳以上の方で3年以上の実務経験を有する方
- 3) 英語による聴講、講師・通訳との活発な討論ができる方
- 4) 原則として参加対象国に居住及び勤務をしている方  
(日本人はご参加いただけません)
- 5) 会社もしくは団体に所属する方
- 6) 軍に籍を置いていない方
- 7) 学生でない方

[注意]

※日系企業や現地資本企業以外からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が低くなります。

※本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関に所属する方は参加できません。

**講義内容（予定）**

※下記研修日時は日本時間です。

日程	研修内容・時間	講師（敬称略）
【1日目】 2/25 (火)	<プレセッション：コース概要説明>(16:00-18:30) グループディスカッション (テーマ：日本的経営)	矢作 恒雄
【2日目】 3/1 (火)	<クラス討論>(16:00-19:00) 日本的経営についての再考 -ジャパン・アズ・ナンバーワンへの道、失われた30年への道、 その背景 -経営者課題及び経済政策課題 -ケーススタディ	矢作 恒雄
【3日目】 3/2 (水)	<クラス討論>(16:00-19:00) マーケティング・マネジメント -基本的フレームワーク -日本におけるマーケティング戦略事例 -DXマーケティング	井上 哲浩
【4日目】 3/3 (木)	<クラス討論>(16:00-19:30) (1) 企業倫理 -コロナ禍における企業倫理 -ケーススタディ (2) 総括	(1)梅津 光弘 (2)矢作 恒雄

※※研修当日は議論をすぐに開始できるように、研修参加者には事前に配布する資料を精読し、質問に対する自身の答えを考えておくことが求められます。

## 講師



**矢作 恒雄 先生**  
慶應義塾大学 名誉教授

慶應義塾大学卒。三菱商事（株）勤務後、スタンフォード大学経営大学院においてMBA（優秀賞）と、Ph.D.（全米博士論文優秀賞）を取得。中小企業経営、ベンチャービジネスの起業・経営を経て、慶應義塾経営大学院助教授、教授、大学院長、財務担当常任理事、ニューヨーク学院理事長を務める。日米の企業・政府機関顧問などを歴任。東証一部上場企業外部取締役。1983年よりAOTS管理研修「経営幹部のための企業経営研修コース（EPCM）」コースディレクターを務める。著書・論文多数。



**井上 哲浩 先生**  
慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授

1987年関西学院大学商学部卒業、1989年同大学大学院商学研究科博士課程前期課程修了、1996年Ph.D.（経営学）（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）。関西学院大学商学部専任講師、助教授、教授を経て、2006年より現職。専門はマーケティング。著書・論文多数。



**梅津 光弘 先生**  
慶應義塾大学 商学部 教授  
一橋大学大学院 経営管理研究科 講師

慶應義塾大学文学部卒業、シカゴロヨラ大学大学院博士課程卒業 Ph.D.（哲学）取得。アメリカに在12年の間にイリノイ大学、シカゴロヨラ大学、ノースウエスタン大学等で教鞭をとるかたわら、シカゴを中心にアメリカ企業への経営倫理コンサルテーションを行う。慶應義塾大学専任講師、准教授を経て現職。著書・論文多数。  
日本経営倫理学会元会長

## 使用言語

講義は英語で行われます。  
講義資料は英語で作成されます。

## 参加費

180 US ドル 本セミナーは経済産業省の補助金により実施されます。

## 申込方法

最寄りの AOTS 同窓会から申込書を受け取り、締切日迄に AOTS 同窓会の担当者宛にメールでお申込みください。応募締切日後、AOTS による参加者選考が行われ、選定された参加者にはご応募の AOTS 同窓会からメールでご連絡します。

その後、期日までに参加費を AOTS 同窓会にお支払いください。ウェビナー当日までに参加費をお支払いいただけない場合、参加資格が取り消されますのでご注意ください。

お住いの国（地域）に AOTS 同窓会がない場合は、最も近い地域の同窓会を通じてお申し込みください。

\*AOTS 同窓会一覧につきましては下記をご参照ください。 <https://www.aots.jp/en/alumni/about/>

## 申込締切日

2022年1月28日（金）（日本時間）

## 使用ツール

### Zoom

- ◇ 参加者として選定された方には招待メールが送られます。招待メール内の指示に従い、ウェビナーへのご参加登録をお願いします。
- ◇ ご参加登録後、登録者には登録確認メールが届きます。メール本文にウェビナーご参加のためのリンクがありますので、当日はこのリンクをクリックしてウェビナーにご参加ください。
- ◇ ご招待メールが届かない場合は、ご応募の AOTS 同窓会迄ご連絡ください。
- ◇ 参加者はミーティングへの円滑な参加のために事前にウェビナーで使用の PC、スマートフォン等に Zoom アプリの最新バージョンをインストールしておいてください。使用するデバイスより下記 URL から、ミーティングのテストすることができます。  
<https://zoom.us/test>
- ◇ ウェビナーの参加時は参加者 1 人につき 1 つのデバイスで参加ください。

## 注意事項

- ◇ 研修当日は議論をすぐに開始できるように、研修参加者には事前に配布する資料を精読し、質問に対する自身の答えを考えておくことが求められます。
- ◇ 参加者は 4 日間すべての研修に参加することが必要です。
- ◇ 規定を満たした本ウェビナーの参加者には、AOTS 修了証書が授与されます。
- ◇ ウェビナー実施中、参加者はビデオをオンにしてください。
- ◇ ウェビナーの参加時は参加者 1 人につき 1 つのデバイスで参加ください。
- ◇ ご提供いただいた個人情報は、参加者の同意に基づき、AOTS の他研修プログラムの広報およびアンケート実施のために利用することがあります。
- ◇ 配布資料を無断で複製、改変、配布、転載、または講義内容を撮影することは、固くお断りいたします。受講に当たっては違反行為を行わない旨、誓約をしていただきます。
- ◇ 不可避の事故（戦争、暴動、労働争議、地震、暴風雨、火災、洪水、疫病の蔓延等）やネットワーク・機器トラブル等が起こった場合、AOTS はウェビナーの実施を中止することがあります。
- ◇ ミーティング参加のために付与されるミーティング情報（リンク、番号、パスワード）は無断で参加者以外の方に譲渡しないでください。
- ◇ 参加者が、不可避の事故やネットワークトラブル等により、ウェビナーへの参加・継続が困難になった場合でも、AOTS は責任を負いません。

## お問合せ

一般財団法人 海外産業人材育成協会

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話：03-3888-8256 Fax：03-3888-8242 E-mail: [webinar-kaikyo@aots.jp](mailto:webinar-kaikyo@aots.jp)

**【Table 1】 各国時差表（対象ゾーン）**

※AOTS 同窓会のある国のみを記載しています

国（地域）	日本との時差
モンゴル（ウランバートル）	－1 時間
マレーシア	－1 時間
フィリピン	－1 時間
カンボジア	－2 時間
インドネシア（ジャカルタ）	－2 時間
タイ	－2 時間
ベトナム	－2 時間
ミャンマー	－2 時間 30 分
バングラデシュ	－3 時間
ネパール	－3 時間 15 分
インド	－3 時間 30 分
スリランカ	－3 時間 30 分
パキスタン	－4 時間
ジョージア	－5 時間
イラン	－5 時間 30 分（－4 時間 30 分）
エチオピア	－6 時間
ケニア	－6 時間
タンザニア	－6 時間
トルコ	－6 時間
エジプト	－7 時間
南アフリカ	－7 時間
スーダン	－7 時間
ザンビア	－7 時間
カメルーン	－8 時間
ナイジェリア	－8 時間
北マケドニア	－8 時間（－7 時間）
ガーナ	－9 時間
アルゼンチン	－12 時間
ブラジル（サンパウロ・リオデジャネイロ）	－12 時間（－11 時間）
ボリビア	－13 時間
パラグアイ	－13 時間（－12 時間）
ベネズエラ	－13 時間
ペルー	－14 時間
メキシコ（メキシコシティ・モンテレイ）	－15 時間（－14 時間）

【Table 2】 対象国リスト

参加者は以下の国に居住している必要があります。

アジア (24)	大洋州 (15)	中東 (9)	ヨーロッパ (10)
アフガニスタン	キリバス	アゼルバイジャン	アルバニア
イラン※1	サモア	アルメニア	ウクライナ
インド	ソロモン諸島	イエメン	北マケドニア
インドネシア	ツバル	イラク	コソボ
ウズベキスタン	トケラウ	ジョージア	セルビア
カザフスタン	トンガ	シリア	トルコ
カンボジア	ナウル	パレスチナ	ベラルーシ
キルギス	ニウエ	ヨルダン	ボスニア・ヘルツェゴ ビナ
スリランカ	バヌアツ	レバノン	モルドバ
タイ	パプアニューギニア		モンテネグロ
タジキスタン	パラオ		
トルクメニスタン	フィジー		
ネパール	マーシャル諸島		
パキスタン	ミクロネシア		
バングラデシュ	ワリス・フツナ		
東ティモール			
フィリピン			
ブータン			
ベトナム			
マレーシア			
ミャンマー			
モルディブ			
モンゴル			
ラオス			

アフリカ (54)		中南米 (28)	
アルジェリア	セントヘレナ島	アルゼンチン	ドミニカ
アンゴラ	ソマリア	アンティグア・バーブ ーダ	ドミニカ共和国
ウガンダ	タンザニア	エクアドル	ニカラグア
エジプト	チャド	エルサルバドル	ハイチ
エスワティニ	中央アフリカ	ガイアナ	パナマ
エチオピア	チュニジア	キューバ	パラグアイ
エリトリア	トーゴ	グアテマラ	ブラジル
ガーナ	ナイジェリア	グレナダ	ベネズエラ
カーボヴェルデ	ナミビア	コスタリカ	ベリーズ
ガボン	ニジェール	コロンビア	ペルー
カメルーン	ブルキナファソ	ジャマイカ	ボリビア
ガンビア	ブルンジ	スリナム	ホンジュラス
ギニア	ベナン	セントビンセント及び グレナディーン諸島	メキシコ
ギニアビサウ	ボツワナ	セントルシア	モントセラト
ケニア	マダガスカル		
コートジボワール	マラウイ		
コモロ	マリ		
コンゴ共和国	南アフリカ		
コンゴ民主共和国	南スーダン		
サントメ・プリンシペ	モザンビーク		
ザンビア	モーリシャス		
シエラレオネ	モーリタニア		
ジブチ	モロッコ		
ジンバブエ	リビア		
スーダン	リベリア		
赤道ギニア	ルワンダ		
セネガル	レソト		

※ イランは南アジア AOTS 同窓会連合の一員として中東ではなくアジア地域に分類します。

お住いの国に AOTS 同窓会がない場合は、最も近い地域の同窓会を通じてお申し込みください。  
AOTS 同窓会一覧 <https://www.aots.jp/en/alumni/about/>